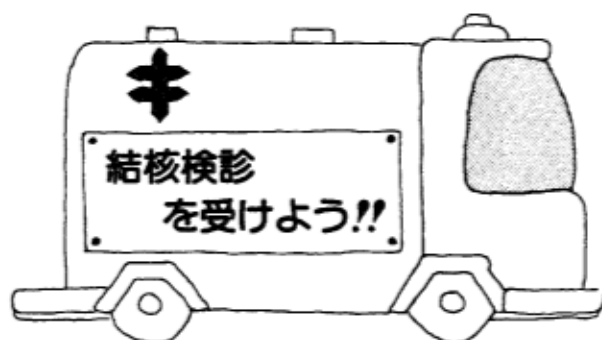


◆保健だよ



九月十六日から十五日間、市内四十八カ所を検診車が巡り結核検診を実施します。かつては恐れられていた結核も今ではすっかり忘れられた存在になってしまい、年々受診者は減少しています。昨年度の受診率は三七・四％で対象者九、五〇〇人に対し、受診者三、五四九人でした。しかし本市では、毎年十人前後の人が結核にかかっているのです。

新しい患者さんの中には家族全員がかかっていることもあります。特にこわいのは赤ちゃんや老人がかかることです。結核それ自体で死亡する人はあまりいませんが、だんだん心臓や肺の働きが悪くなり亡くなってしまう例が少なくありません。

結核の症状はカゼとほとんど変わりません。訴えの多い症状として、第一位がセキ（65％）、第二位が疲労感（50％）、第三位が発熱（48％）、以下痰、体重減少、胸痛の順になっています。こうしてみると、これは結核だ、というキメ手がないようです。その為、発見が遅れやすいのです。レントゲン検査は、肺がんの手がかりにもなります。たくさんタバコを吸う人はすんで受けて下さい。受診票、日程表は各自治会より家庭に配布されます。「結核なんて関係ない」と言わずにすすんで受けましょう。

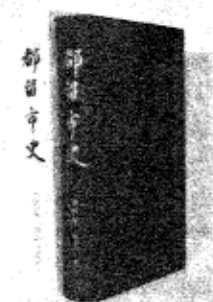
問合せ 保健環境課

☎(43) 1111内線(247)

『都留市史資料編』

地史・考古

発刊のお知らせ



このたび「都留市史」資料編の第一巻として、「地史・考古」を発刊する運びとなりました。

本巻は、地史では、都留市

が立地する大地（基盤岩類・断層・被覆層）の生成史を科学的に明らかにしたものであります。考古では、市内各地で確認された八二の遺跡を流域ごとに紹介し、また、発掘された各遺跡については、図版・写真などを豊富に収録して説明しております。

本刊の編纂にあたって御協力を頂きました多くの方々に、厚く感謝の意を表しますと共に、今後ともよろしく御願い申し上げます。

先祖から受け継がれた、貴重な文化遺産を後世に伝えるため、一家に一冊お備えいただき、御愛読いただければ幸いです。

市民編纂室（文化会館内）

☎(43) 1321（月曜日を除く）

（5）

61・9・1 No.3 12